

74年を迎え、新たな歴史を刻みはじめた学び舎

雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスのいま

3082人の卒業生を送り出し平成10年に廃校となった雨煙別小学校。昭和11年建設の2階建木造校舎は道内では貴重な歴史的建造物です。平成21年、(財)コカ・コーラ教育・環境財団の多大な財政支援と延べ1500人もの町民ボランティアにより校舎は再生され、平成22年4月より「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」として正式にオープンしました。

本町が環境教育をテーマにするには背景があります。栗山町は5つの異なる樹林帯が重なる地域にあたり、南北

の昆虫の分布が交わる接点の地域でもあります。身近で豊かな自然に恵まれています。昭和60年に北東限地域となる国蝶オオムラサキの生息が確認されて以来、豊かな雑木林の保護育成や、人と自然の身近な接点となる「ハサンベツ里山づくり」など、20年以上にわたり町民主体の環境再生と教育活動が行われてきました。現在では町内の児童生徒のほぼ全員が、学校教育活動などとおして自然体験機会を得ています。

自然を守り育ててきた町の歴史を新たな地域ブランドとして高め、次世代

に進化させていく転換期に、「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」は完成しました。自然環境を守り育ててきた町民指導者たちによる川や森、里山の恵みを活かした環境教育プログラムが展開され、全国の子どもたちが自然から学んでいます。

新たな歴史を刻み始めた学び舎の現状や、これまで行われたさまざまな事業をご紹介します。



2400人が利用

昨年4月に正式オープンした「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」には、1月までに、町内外から約2400人の利用があり、その内、宿泊者は延べ1700人を数えました。町内の小中学校の宿泊研修、各教科学習での利用も始まり、(財)コカ・コーラ教育・環境財団の教育事業、スポーツ少年団の合宿、大学生による研究・調査事業など、次世代を担う青少年の利用が中心となり、廃校後12年の時を経て、木造校舎に子どもたちの笑い声が帰ってきました。80mある廊下のきしむ音、教室を改修したユニークな大部屋での宿泊、開放的な食堂での楽しいバイキング料理、黒板など当時の雰囲気を残す音楽室での工作体験、体育館でのレクリエーションなど、施設利用者の印象も良く、今後も青少年の研修施設と

しての役割が期待されています。また、卒業生の皆さんの同窓会も多く開かれ、懐かしの学び舎で往時の想い出が語られています。

施設は宿泊利用に限らず、無料での見学案内（火曜日以外）はもちろん、会議や勉強会など日帰りでの利用も可能で、定期的に利用している町内の団体もあります。

NPO法人雨煙別学校による運営管理

施設の管理運営は、(財)コカ・コーラ教育・環境財団（東京都港区）と町の協力体制のもと、NPO法人雨煙別学校が担い、利用者へのサービス全般を行っています。昨年11月に新たに就任した松原由典理事長を中心に、広く町民の皆さんに親しまれる施設運営を目指しています。

また、利用者が希望した場合の「自然体験プログラム」の提供については、NPO法人くりやま（中井惺理事長）との連携により、同法人事務局長の高橋慎さんをはじめ、町内の自然環境を守り育ててきた町民指導者たちが担当し、夕張川やその支流、御大師山、ハサンベツ里山など町内の身近な自然をおとした体験機会を提供しています。

雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスの基本データ

宿泊定員	80人
受付時間	9:00～18:00
施設利用時間	9:00～21:00
休館日	毎週火曜日（事前予約は除く） 年末年始
宿泊料金	幼児1,000円 小中学生2,500円 高校生以上2,800円 ※学校・青少年団体は割引料金有
施設利用料金	各室1時間300～500円
問い合わせ	NPO法人雨煙別学校 ☎72-1696

（平成23年1月現在）

NPO法人雨煙別学校理事等体制

理事長	松原 由典	松風3丁目
副理事長	瀬尾 聡	字鳩山
理事	山崎 信治	松風3丁目
理事	高橋 慎	松風4丁目
理事	麻生 朋子	神奈川県（財団）
理事	岡田 太郎	東京都（財団）
理事	山本 信二	角田
監事	岡山 典弘	錦3丁目
監事	小林 勝広	東京都（財団）

（平成22年12月現在）

原体験



個人の人格を形成
するのに大きな影
響を与える体験
＝
原体験^{げん}

五感を使った 栗っ子たちの原体験

「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」のオープンとともに、町教育委員会では、「ふるさと自然体験教育」を積極的に推進し、施設を利用したさまざまな教育活動を展開しています。

角田小学校と継立小学校では、昨年5年生が宿泊研修を実施し、森や川、里山のめぐみなどふるさととの自然の中で、楽しい体験とともに、身近な生物の環境への働きや、人間生活とのつながりを学びました。地元野菜をふんだんに使った料理も大好評で施設の魅力の一つとなっています。

栗山小学校は、4年生の一日体験活動で訪れ、昨夏、老朽により伐採した同校のポプラの木や、ハサンベツ里山で見つけた森の宝物を自由に使い、図画工作の時間で個性的な表札づくりを体験しました。

その他、町内小中学校における教育課程の一環での自然体験活動は延べ1200人を数え、個性的な教育環境の一つとして活用されています。

昨年の9月に宿泊研修を行った継立小学校5年生。
代表して4人に活動の思い出をインタビュー！



大坪 遼くん 横岡 稜也くん

広く親しまれる学び舎を目指して

多くの町民の皆さんの多大なご協力により再生された「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」は、昨年4月より宿泊研修施設としてオープンし、間もなく一年を迎えようとしています。74年の風雪に耐え、廃校まで3082名を送り出してきた木造校舎が新たな歴史を歩み始めているところです。

小中学校をはじめとする地元の子どもたちはもちろん、財団法人コカ・コーラ教育・環境財団の積極的なご支援もいただき、全国から多くの利用者をお迎えし、新たな出会いと交流に恵まれた一年となりました。NPO法人くりやまの皆さんとの連携により、ハサンベツ里山をはじめ栗山町の身近な自然の中での体験機会も提供し、自然や生命の不思議を感じ、人間生活にもつながる環境の大切さを学ぶきっかけづくりにも努めてまいりました。



特定非営利活動法人 雨煙別学校
理事長 松原 由典

また、自然体験に限らず、各種スポーツ少年団の合宿や青少年育成会のキャンプ、企業の社員研修、卒業生の皆さんの同窓会など、町内外の幅広い団体にご利用いただき、少しずつ評価とはげましの声をいただいていることに感謝しております。

私どもは、次代を担う栗っ子たちの「ふるさと教育」への貢献など、町民の皆さんの幅広いご利用はもちろん、広く全国の子どもたちに親しまれる施設となるよう努力してまいりますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。



高木菜々子さん 米田 零美さん

境「ハウス」に泊ることがあったら、
どんなことをしてみたいですか？

高木さん：釣りは初めてだったけど楽しかった。またやってみたいです。
大坪くん：僕は一番大きなニジマス釣ることができて嬉しかった。ヤマベ（サクラマス）を釣るのは難しかった。
横岡くん：炭焼きにしたニジマスは美味しかったよ！でも焼くときに塩が多すぎてしょっぱかった。

米田さん：私はまた雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウスのごはんが食べたい。
大坪くん：メニューにラーメンがあれば良いな。あと、動物や昆虫とか、生きもののことをもっと勉強したいな。

高木さん：私はコウモリを見たい！
横岡くん：僕はへびにさわってみたい。木のぼりなんかも楽しそう。

米田さん：来年も今の4年生に混ざって一緒に行きたいね。

Q「雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス」の印象は？
高木さん：学校というよりもホテルみたいだなと思った。
横岡くん：古い学校だけど、とてもきれいだっただ。
大坪くん：古い柱があったけど、太くて頑丈そうだった。
米田さん：お風呂が大きくて貸し切りで楽しかったし、夜と朝のバイキング（食事）もとても良かった。
高木さん：私も！ごはんがとても美味しかった！
米田さん：一番美味しかったのは朝のお味噌汁かな。
横岡くん：僕はメニュー全種類食べたよ。
大坪くん：学校の裏にある川に降りて遊ぶようになったらもっと楽しいだろうなと思う。寝ているとききちょっと部屋が暑かった。
Q夕張川で活動してみた感想は？
横岡くん：川の中は石がゴツゴツして歩きにくかったし、思っていたよりも川の流れが強く感じた。
高木さん：川の底がどろどろしていた。
大坪くん：川のまわりに木が多いことや、浅いところや深いところの違いも分かった。
米田さん：ボートに乗っているとき水をかけられて、楽しかったけど冷たかった。
高木さん：ボートを漕ぐのは思っていたよりも大変。
Qまた「雨煙別小学校 コカ・コーラ環

財団の事業展開により 全国にPR

校舎再生に多大な支援をいただいた
コカ・コーラ教育・環境財団では、北
海道コカ・コーラボトリング(株)の協力
も得ながら、多様な事業展開を行って
います。昨年8月には、本町で3回
目となる「コカ・コーラ環境フォーラム」
(年1回)が開催され、北海道から沖
縄まで、環境にかかわる教育活動で
素晴らしい実績を修めた全国の15団体が
表彰を受け、その活動内容を学び合う
とともに、地元の小学生を含めた交流
体験事業が行われました。

また、東京大学や北海道大学、同志
社大学など学生による研修・研究活動
も積極的に展開し、近い将来を担う環
境リーダーの育成を積極的に進めてい
ます。その他、東京などにある職業・
社会体験施設「Kizania（キッザニア）
ザニア」やコープさつぼろとの連携事
業、TBS はなまるマーケットやテレ
ビ朝日の特別番組の企画など、多様な
事業展開をおして、引き続き施設運
営に支援をいただいています。これら
により、利用客の拡大はもとより、全
国に施設の情報が発信されています。

コカ・コーラ教育・環境財団による 多様な事業展開



東京などにある職業体験施設 Kizania（キッザニア）が、ハサンベツ里山で森の間伐作業や薪割りなどを体験。



オープンから約1年が経ち、徐々に注
目を集める「雨煙別小学校コカ・コーラ
環境ハウス」ですが、冬期間の利用拡
大、校庭の利活用、研修設備の充実な
ど、今後に向けた課題も多く抱えて
います。NPO 法人雨煙別学校では、
地域に親しまれる施設運営はもちろ
ん、積極的な情報発信と、課題解決に
向けた努力が必要となっています。

町にとっても、地域に多様な波及効
果の期待できる重要なプロジェクトで
あり、その魅力向上に向けて引き続き
支援していきますので、町民の皆さん
のご支援をお願いします。

今後に向けて



財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
常務理事 松 鷹 恵 市

地域に根差した施設を 目指して

昨年4月、栗山町の皆さんの多
大なご協力により、「雨煙別小学校
コカ・コーラ環境ハウス」は持続可
能な次世代育成のフィールドとして、
グラントオープンを迎えることがで
きました。オープン後は栗山町の皆さん
はもちろん、青少年を中心に全国から
多くの方々にご利用いただき、私ども
コカ・コーラの事業においても、環境
教育を行う小学生から高校生が集結し
た「コカ・コーラ環境フォーラム」や、
東京大学をはじめとした、環境教育を
学ぶ大学生のワークショップなど、多
くの事業を展開させていただきました。

全国にも同じ様なコンセプトの施設
はありますが、栗山町の豊かな自然環
境を活かした環境教育プログラムを柱
に、地域住民、NPO 法人、行政、財団、
企業が協働して運営している施設とし



環境フォーラム2010



世界各国から集まった学生サミット



テレビ取材の様子

て、全国から高い注目を浴びています。
今後、この施設をより発展させていく
ため、そしてより多くの方々にご利用
いただくためには、まず栗山町民の皆
さんに施設を良く知っていただきたい
と思っています。全国的にも誇れる先
進的な事例として、栗山町の自然・環
境教育事業を柱に、全国の青少年の体
験のきっかけ作り、成長の促進、そし
て栗山町はもちろん、利用者それぞれ
の地域への還元につながる人材育成が
行われることを期待しております。

今後も地域に根ざした施設を目指し
て、地域の皆さんとの協力により、私
たちもさまざまな事業を展開したいと
思っております。